



五重の泉

校長 小関 広明

山形市立第二中学校 学校だより 令和5年7月20日 第4号

一学期終業式校長式辞

今年4月8日、山形二中の令和5年度がスタートしました。4月1日から、今日まで109日という日数が経過し、皆さんはその内70日学校に登校して、令和5年度の約3分の1が経過しています。

これまで、4月には入学式や駅伝大会、5月には修学旅行などの各学年行事、6月には生徒総会や市中総体、そしてつい先日は、吹奏楽コンクール村山地区大会が行われました。様々な大会等では、素晴らしい成果を収めるなど、ひとつひとつの活動に対して、皆さんそれぞれが一生懸命に取り組んでいることに、大変嬉しく思っています。

7月16日の吹奏楽のコンクールは、私も聴かせていただきましたが、聴く者の心を揺さぶる、素晴らしい演奏でした。是非、今月末の県大会でも頑張ってもらいたいと思います。

また、今週末には、いよいよ中体連の県大会が行われます。先日の壮行会でも話しましたが、是非、全力で戦ってきてください。

さて、先程、2年生の2人と二中学生徒会に、山形市の「善行賞」の表彰を行いました。2年生の二人の善行賞は、始業式の時にも話しましたが、自転車で地下道を通っていたおばあさんが、地下道を出られなくなって困っていたところを助けてくれたことに対する表彰です。

また、生徒会の善行賞は、冬に行われた生徒会主催の雪はきボランティアに対する表彰です。こちらは、多くの人が協力してくれました。

7月15日の山形新聞にも、表彰の様子が掲載されておりました。

昨年度も、皆さんの色々な行いに対する感謝の言葉が学校に寄せられました。皆さんのちょっとした心遣いが、地域の方々の心を癒やし、明るくしてくれております。世の中を変えていくのは、こうした小さなひとつひとつの行動だと思います。

実は昨日、この山形新聞の記事を読んだ、山形市内に住む81歳の方からはがきをいただきました。はがきには、記事を読み、ほんわかとした気持ちになったことに対するお礼とともに、ご自身が、東日本大震災の折の「助け合い・支え合い・我慢し合い・話し合い・感謝・祈り」から「和の心と呼ばれている日本人の美德」を学んだということ、そして、二中の皆さんが地域の方々に「助け合い」の手を差し伸べたことは、日本人の美德に通じる素晴らしいことだ、ということが綴られておりました。

是非、これからも中学生の行動で、地域を明るくしてもらえればと思います。

コロナ禍が収まり、地区の夏祭りなど、様々な行事が4年ぶりに行われるようになりました。その中には、皆さんが住んでいる地区の清掃活動などもあります。学校にも、そうした活動への二中学生の協力依頼がきております。これまで、3年間行われていなかったのも、このような活動が行われていたということも知らない人も多いと思いますが、こうした地域の活動にも是非積極的に参加してもらえればと思います。

また、先ほど紹介したような二中学生の善い行いに対して感謝の言葉をいただく一方で、登校時や下校時の様子に対して、地域の方からお叱りの電話をいただいたこともありました。こうした点については、是非、これからの課題として捉えて、改善して欲しいと思います。

良い点はどんどん伸ばし、課題となる点は素直に反省し、改善して、大きく成長して欲しいと思います。

さて、明日から夏休みに入ります。部活動や、3年生は受験勉強もあると思いますが、皆さんがこの夏休みを過ごす上で、おすすめしたいことがあります。5月の講話の中でも話しましたが、それは「読書」です。

12日に、みなさんに生活状況アンケートを行いました。アンケートの中に読書の質問項目がありました。その結果をちょっとお伝えします。

学校全体で、2時間以上読書しているという人は26人で全体の6.1%でした。

1時間から2時間という人は32人で7.6%。

30分から1時間という人は60人で14.2%。

10分から30分という人は74人で17.5%。

10分未満という人は55人で13.0%。

そして、読まないという人が176人で全体の41.6%でした。

ひょっとしたら、読まないというよりも、読む時間がないのかも知れません。

5月の講話で話をしたように、今の日本の子ども達が弱くなっている「読解力」を付けるためには、読書が大切とも言われています。

「読解力」以外にも、読書には様々な効果があると言われています。

例えば、会話や文章力が向上する、ボキャブラリーが増える、教養や知識が身に付く、想像力が豊かになる等々、そして何より、心が豊かになります。

是非、この夏休みに、普段はなかなかとることが出来ない「読書の時間」を、一日を過ごす時間の中に確保してみたいはいかがでしょうか？

明日から8月17日まで、28日間の夏休みになります。


熱中症や感染症など健康に注意しながら、充実した夏休みを過ごし、また元気な姿で会えることを楽しみにしています。

お知らせ 山形市いじめ相談ダイヤル

山形市いじめ問題対策連絡協議会

いじめ相談ダイヤル

いじめにあつて… つらい
みんなが無視する… ひとりぼっちだ
こまった、だれか話をきいて…




やまがたし そうごうがくしゅう
山形市総合学習センター

023-645-6182

げつ きんようび ごぜん じ ごご じ
(月～金曜日 午前10時～午後4時)

みんなの相談をうけつけているよ。
ひとりで悩まないで、相談してね。

やまがたけんきょういく 山形県教育センターの、24時間受付のいじめ相談ダイヤルもあるよ。



こちらでも相談をうけつけているよ

山形二中に善行表彰

「山形新聞令和5年7月15日(土)」写真提供/山形新聞社

た高齢女性が上れないで
 練習を終えて帰宅途中、
 共に所属するバレー部の
 介さん(13)。3月下旬、
 藤直輝さん(14)と中村壮
 表彰を受けた2人は遠

表彰を受けた2人は遠
 藤直輝さん(14)と中村壮
 介さん(13)。3月下旬、
 共に所属するバレー部の
 練習を終えて帰宅途中、
 た高齢女性が上れないで

地下道の女性手助け

山形

青少年の健全育成などに

山形二中に善行表彰

域社会づくりにつなげる
 築き、互いに支え合う地
 た。住民と温かな関係を
 ア活動を初めて展開し
 の高年齢者7世帯を訪れ、
 雪かきを行うボランティア
 ら計5回にわたり、地域

いるのを見つ、代わり
 に地上まで自転車を運ん
 だ。後日、女性から学校
 にお礼のはがきが届い
 た。2人は『ありがとう』
 と言われてうれしかった。
 た。今後困っている人
 がいたら声をかけようと
 思う」と振り返った。
 同校生徒会は、1月か

高齢世帯訪れ雪かき

ため、本年度も引き続き
 取り組みほか、夏季には
 通学路のごみ拾いも繰り
 広げる。生徒会長の3年
 佐藤琴音さん(14)は「地
 域の方に恩返ししようと
 始めた。ボランティアは、
 する方もされる方も互い
 に笑顔になれる活動と分
 かった」と話した。

同校で表彰式を行い、
 伊藤会長が遠藤さんと中
 村さん、佐藤さんに表彰
 状を手渡し「これからも
 こうした行動を続けてほ
 しい」と呼びかけた。
 (吉村瑛人)



高齢女性を助けた中村壮介さん(右から2人目)と遠藤直輝さん(同3人目)、生徒会長の佐藤琴音さん(同4人目)に表彰状が贈られた
 =山形市・山形二中

山形市青少年育成市民会議の伊藤康則会長様より「青少年の善行表彰」に選出されました。

2年遠藤直輝さんと中村壮介さんが「地下道の困っている女性を手助けした行い」で個人の部で表彰されました。

また、本校生徒会が「高齢世帯を訪れ雪かきした行い」で団体の部で表彰されました。

今年度、生徒会重点目標の一つである「地域貢献」を実践しながら地域の皆様に感謝を伝え、また、自らの心も育てていきたいと思います。

* 1学期の栄光の足跡* ~市中総体以外の表彰です~

＜スポーツ面（中体連関係以外）＞				
部活動名等	個人名	大会名等	記録	日付
女子ソフトテニス	伊藤吏咲・會田玲愛	山形地区春季選手権大会	第1位	4月30日
女子ソフトテニス	木嶋暖和・中村煌花	山形地区春季選手権大会	第3位	4月30日
女子ソフトテニス	目黒袖羽・片倉野衣	山形地区春季選手権大会	第3位	4月30日
女子ソフトテニス	伊藤吏咲・會田玲愛	第61回商門杯・小嶋旗争奪 山形県中学校ソフトテニス選手権大会	第3位	5月5日
女子ソフトテニス	木嶋暖和・中村煌花	第61回商門杯・小嶋旗争奪 山形県中学校ソフトテニス選手権大会	第3位	5月5日
女子ソフトテニス	団体	東北・北信越中学校ソフトテニス大会 女子研修の部	第2位	7月9日
男子ソフトテニス	団体	第21回ウィナー杯 東北中学校選抜ソフトテニス大会	第3位	4月2日
男子ソフトテニス	団体	東北・北信越中学校ソフトテニス大会 男子普及の部	第2位	7月9日
男子バスケットボール	団体	第13回山形学院クルセーダーカップ バスケットボール大会	優勝	3月26日
男子バスケットボール	団体	第60回上山スポーツマニア杯争奪 中学校バスケットボール大会	優勝	5月4日
駅伝	安藤 新	第41回東根ロードレース大会中学3km	第5位	3月21日
陸上競技	林谷さくら	第59回山形県通信陸上競技大会 中学校女子 200m	第2位	5月3日
陸上競技	林谷さくら	第69回全日本中学校通信陸上競技大会 女子共通200m	第1位	7月1日
陸上競技	林谷さくら	第69回全日本中学校通信陸上競技大会 女子3年100m	第1位	7月2日
陸上競技	赤塚 満月	第69回全日本中学校通信陸上競技大会 女子共通 走幅跳	第7位	7月1日
軟式野球	鈴木煌大	楽天イーグルス杯 第21回東北中学校選抜野球大会	準優勝	3月19日
卓球	堀 結	カデット男子シングルスB	第1位	3月25日
卓球	中村 颯志	山形市中学校春季卓球大会	第3位	5月4日
ソフトボール	団体	第32回山形市中学校春季ソフトボール大会	第1位	5月14日
剣道	団体	第54回山形県少年剣道錬成大会	第3位	5月21日
＜文化面＞				
部活動名・個人名等	大会名等		記録	日付
山形二中生徒会	山形市青少年の善行表彰			7月10日
遠藤 直輝	山形市青少年の善行表彰			7月10日
中村 壮介	山形市青少年の善行表彰			7月10日
齋野 明星	令和5年度夏休み標語		優秀	6月27日
工藤 虹七	令和5年度夏休み標語		佳作	6月27日
林谷さくら	令和5年度夏休み標語		佳作	6月27日
犬飼 優花	令和5年度夏休み標語		佳作	6月27日
澤谷 璃咲	第73回「家庭の日」推進標語		佳作	7月12日
熊倉 蓮	第73回「家庭の日」推進標語		佳作	7月12日
吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール村山地区大会 小編成の部		優秀	7月16日

全国大会出場おめでとう！

3年林谷さくらさんは、7月1日、2日に行われた「第69回全日本中学校通信陸上競技大会」において、「女子共通200m」と「女子3年100m」の2種目で全国大会参加標準記録を突破し、8月に愛媛県で行われる全国大会への出場権を獲得しました。おめでとうございます！

総合部の活躍 県・東北・全国の舞台で頑張っています！

種目等	日付	大会等	個人・団体名	結果
チアダンス	3月26日	全日本チアリーディング &ダンス全国選手権大会	3年 田中 来実 2年 伊藤 凜	第10位
バレエ	2月25日	全国ダンスコンペティション in 仙台	2年 鈴木 璃子	クラシック ・ジュニア2部門 宮城県洋舞団体連合会 奨励賞
	3月27日	NBA バレエコンクール	3年 札野 咲重	中学3年の部 秀麗賞
			2年 鈴木 璃子	中学2年の部 3位の2 (全国シード権)
	2年 五十嵐 柚	中学2年の部 秀麗賞		
4月	全日本 DATE クラシックバレエ コンペティション	2年 鈴木 璃子	AI部門 奨励賞 GCDANCE JAPAN EDITION スカラシップ賞	
ピアノ	5月7日	東北青少年音楽コンクール	3年 佐藤 羅心	奨励賞
ボウリング	5月28日	県ジュニアボウリング競技大会	3年 平田 璃子	中学生の部 第1位 ハイゲーム賞 ハイシリーズ賞
	6月4日	国体県予選会ボウリング競技	3年 平田 璃子	少年女子 第1位
RCカー	5月14日	タミヤチャレンジカップ	1年 柴田 歩夢	GTクラス 優勝 Mクラス 第2位
	6月18日	タミヤチャレンジカップ	1年 柴田 歩夢	GTクラス 第2位 Mクラス 第2位
ダンス	4月	ソウルメイト 3rd ファイナルコンテスト	3年 笹原 麻美	優勝
	6月	Top of the Dance	2年 佐藤日美喜	第6位
硬式野球	5月21日	日本少年野球関東大会 東北支部予選	寒河江ボーイズ 2年 荒木 陽向 武田 怜矢 吉田 煌希 海鉾 彪斗 平野真那斗	第3位

県中総体開幕！「believe！強い思いは花開く」

7月21日～24日、第63回山形県中学校総合体育大会が、「believe！強い思いは花開く」を大会スローガンとして、県内各地の会場で開催されます。

陸上部、水泳部、男子バスケットボール部、男女ソフトテニス部、卓球部、男女バドミントン部、剣道部のみなさん、ぜひ、山形二中代表として、山形市の代表として、誇りを持って決してひるむことなく挑んでください。祈り！！東北・全国の舞台へ！！

そして、吹奏楽部のみなさん、7月30日に行われる吹奏楽コンクール県大会では、ゴールド金賞、東北大会を目指してがんばってください。なお、夏季休業中の県中総体等の結果は、メール配信でお知らせいたします。また、総合部のみなさんの活躍も楽しみにしています。

中学生465人の夏がそれぞれの目標に向かって、465人のそれぞれのペースで成長できる夏になることを願っています。

第1回学校運営協議会を開催しました

～地域とともにある学校を目指して～

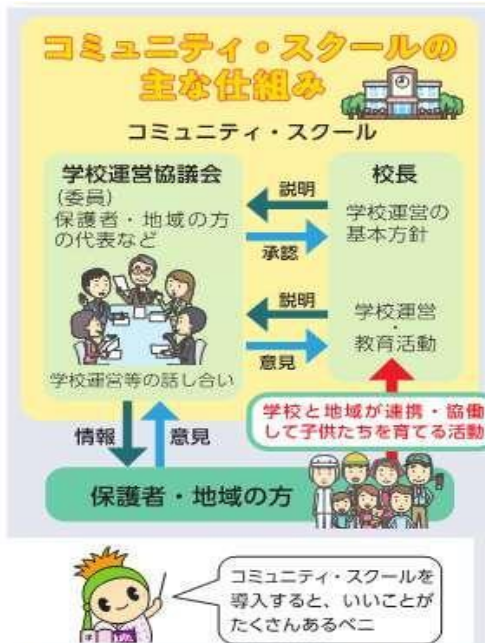
第1回学校運営協議会を開催いたしました。委員の皆様から授業の様子を見ていただきました。

校長より令和5年度本校の学校運営について説明後、委員の皆様と授業におけるICTの活用や今年度から本校で新しく導入した夏のポロシャツの着こなし方、今後の部活動の在り方、地域貢献活動などについて活発な熟議が行われました。

今後も学校と地域、保護者の皆様と連携・協働しながら「地域とともにある学校づくり」を目指していきます。

令和5年度 山形市立第二中学校 学校運営協議会委員

ご氏名	役職
丹野 裕一さん	P T A会長
川崎 博人さん	教育後援会長
松本重次郎さん	同窓会長
山口 徹さん	城北町内会長
佐藤 茂也さん	西原地区自治会長
齋藤 順治さん	第七地区民生児童委員
大築 義雅さん	元P T A会長
吉田 典子さん	母親委員長
奥山百合子さん	母親副委員長



コミュニティ・スクールの取り組みの例

子供たちの安全のために！見守り隊活動の活性化！

「子供たちを安全に登下校させたい」という保護者の願いを受け、学校・保護者・地域の方がさらに連携。登下校を見守る「見守り隊活動」の活性化が図られました。

「地域の先生」が学習会や体験活動で活躍！

学校と地域を繋ぐコーディネーター[※]が「地域の先生」を学校に紹介。夏休み学習会や体験活動の先生として活躍しました。

※学校と地域との連絡調整等を行う保護者・地域の代表の方などです。

地域の方の代表が活動内容を学校に提案！

「地域が必要としている福祉やボランティアの活動」を学校に提案。学校と地域の願いを合わせた活動を通して、子供たちの「地域の一員としての自覚」が高まりました。

子供たちに いいこと

学びや体験活動がさらに充実するとともに、地域の一員としての自覚が高まります。

学校に いいこと

地域の方の理解・協力を得た学校運営や、地域の人・自然・文化を活用した学習の実現にさらに近づきます。

地域の方に いいこと

学校や子供たちとの関わりを通して、喜びや生きがいをさらに感じるすることができます。

保護者や地域の皆様の本校へのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。70日間の1学期、様々なことに精一杯努力した二中の生徒の皆さんを誇りに思うとともに、引き続き、各自の目標に向かって継続して努力できるよう、教職員一丸となって支援していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。